

生涯スポーツを楽しもう!! ~「スポレク滋賀2008」~

第21回全国スポーツ・レクリエーション祭(以下スポレク祭)が、来る10月18日(土)~21日(火)に滋賀県で開催されます。マスコットキャラクターのキャプフィーも県内のあちこちで目にする機会も多くなり、すっかり人気者になっている様子です。

このスポレク祭とは、誰もが気軽にスポーツやレクリエーション活動を楽しむことができる国内最大規模の生涯スポーツの祭典です。主会場では、家族みんなで楽しめる特別行事やシンポジウムが開催され、県内15市町では、各都道府県の代表選手が参加する18種目(壮年ボウリング、ゲートボール等)のほかに、一定の条件を満たせば誰もが参加できるフリー参加6種目(太極拳、健康マラソン等)をあわせた24種目の種目別大会が開催されます。



みんな、遊びに来てね!!

INDEX

- ・(特集)生涯スポーツを楽しもう!! ~「スポレク滋賀2008」~ ・1~3面
- ・ひとくち源氏物語 3. 秋の植物 3面
- ・郷土資料紹介 4面

図書館の催し

国宝・源氏物語絵巻の世界 1階談話室

10月1日(水)~10月13日(月)

10月30日(木)~11月14日(金)

滋賀医科大学附属図書館資料展 1階談話室

『湖国の医史 先人たちの活躍を知る』

10月16日(木)~10月26日(日)

記念講演会 上田博章氏(元朝日放送アナウンサー)

10月18日(土)午後2時から

土曜サロン

女性アンサンブル ポーチェマドンナ

11月22日(土)午後5時から 1階ロビー

『絵本「まつりの夜に」制作の現場から』

お話 滋賀県立大学教授 武邑尚彦氏

森愛鐘氏

11月29日(土)午後3時30分から 1階談話室

原画展 11月19日(水)~11月30日(日)

おはなし会

10月17日(金) 1階テラス

11月21日(金) 1階談話室

午前11時と午後3時の2回

文化の日 文化ゾーン探検隊

11月3日(月・祝)文化の日

生涯スポーツを楽しもう！！ ～「スポレク滋賀 2008」～

今号では、スポレク祭開催を記念して、「生涯スポーツ」について特集いたします。

生涯スポーツとは

スポーツというと、今夏開催された北京オリンピックを代表するような「競技スポーツ」を思い浮かべる方が多いと思いますが「生涯スポーツ」とは、誰もが、いつでも、どこでも参加できるみんなのスポーツを指しています『生涯スポーツへの提言』(高嶋実・大河内保雪著 不昧堂出版 1990年)。これまでは、スポーツの競技的側面が強調されてきましたが、社会背景や生活環境の変化にともなって、健康のためにジョギングをしたり、テニスを楽しむなど、生活と結びついたスポーツの意義が見直される時代になってきたと言えます。



(グラウンド・ゴルフ) 写真は滋賀県体育協会提供

それでは、生涯スポーツにはどのような種目があるのでしょうか。スポレク祭で開催される種目を見てみると、壮年サッカーや男女混合綱引き、トランポリンなどといった馴染みのある種目もありますが、インディアカやユニカール、フライングディスクなど、どんなスポーツなのかあまり知られていない種目もあります。

『ニュースポーツ辞典』(北川勇人著 遊戯社 1991年)や『レクリエーションスポーツ種目全書』(北川勇人著 遊戯社 1984年)には、誰もがいつでもどこでも参加できる生涯スポーツの種目がたくさん紹介されています。種目別では、『詳解ソフトバレーボールのルールと審判法』(佐々木宏編著 大修館書店 2007年)や『ブーメランハンドブック-生涯スポーツを楽しむために-』(日本ブーメラン協会著 日本レクリエーション協会 2001年)等もあります。

また、『高齢者のスポーツ・レクリエーション』(草川一枝・吉川喬子共著 遊戯社 1990年)には、日常生活における健康管理や体操、軽スポーツやダンス、レクリエーションなどさまざまな実例が具体的に紹介されており、高齢者向けのスポーツやレクリエーション活動の実際を知ることができます。

滋賀県の生涯スポーツ振興

生涯スポーツのありかたについては、滋賀県でも着目し、取り組みがなされています。

成人のスポーツ実施率(週に 1 回以上運動を行う者の割合)は、本県では全国平均値を下回っているのが現状です。

低いスポーツ実施率や子どもの体力低下、また高齢化社会にともなう健康づくりの必要性など、様々な現状と課題をふまえて『滋賀のスポーツデザイン 2010-滋賀県生涯スポーツ振興計画-』(滋賀県教育委員会事務局保健体育課編 2002年)を提示しています。これによると「スポーツの振興を総合的に図り、県民の豊かなスポーツライフの実現を目指す」「成人週 1 回以上のスポーツ実施率が 2 人に 1 人となることを目指す」を施策目標として挙げています。そして、その施策目標の実現に向けて、時代の変化に対応するため、新たなスポーツ振興の考え方や仕組みづくりを担う「総合型地域スポーツクラブ」の育成創設が推進されています。

誰でも、いつでも、世代を超えて・・・

総合型地域スポーツクラブとは、複数の種目が用意され、子どもから高齢者、初心者からトップレベルの競技者まで、地域の誰もが、年齢・関心、技術・技能レベルなどに応じていつまでも活動でき、地域住民によって主体的に運営されるものです。そして、拠点となる施設及びクラブハウスがあり、質の高い指導者のもとに運営されることが理想とされています。『地域を変えた総合型地域スポーツクラブ』(山口泰雄著 大修館書店 2006年)では、クラブの事例を中心に、その組織とプログラム、人的資源や地域文化を考察し、「まちがスポーツでかわる」プロセスとその影響として、社会的効果、経済的効果、個人的効果が具体的に記されています。

本県においても、19 年度末には、41 のクラブが誕生しています。『滋賀のスポーツクラブナビ 2008』(滋賀県体育協会 滋賀県広域スポーツセンター編集・刊 2008年)には、県内のスポーツクラブの活動状況が詳しく紹介されています。

生涯スポーツを楽しもう!!

生涯スポーツに興味を持たれた方はスポレク祭に足を運んでみませんか。フリー参加種目のほかニュースポーツ体験コーナーなどもあり、たくさんの生涯スポーツを体験できるチャンスです。お友達やご家族、地域のみなさんと一緒に是非ご参加ください。まずは楽しむことから始めましょう!!



写真は滋賀県体育協会提供

祭典の詳しい情報については「スポレク滋賀」 (<http://www.pref.shiga.jp/edu/sporec/>)をご覧ください。

今月のBOOKまーく



協力車は走る

皆さん、協力車とは何かご存知でしょうか。協力車とは県立図書館から県内の市町立図書館に予約本を届けている車のことです。皆さんの読みたい本がその図書館にない場合、滋賀県では県立図書館や他の市町立図書館にあれば、県立図書館を通じて本の貸し借りをしています。

そして協力車には本だけでなく、県立図書館の司書も同乗しています。司書が同乗することによって市町立図書館の様子や課題などを知ることができ、またこちらからは県立図書館や他の市町立図書館の情報を伝えることができます。そしてなにより直接伺うとその図書館を利用している皆さんの様子がよくわかります。ある図書館では、利用者の方が県立図書館から届く本を心待ちにして協力車が着くまで待っていてくださったこともありました。またある方は、県立図書館の蔵書リストを手に、ご自身の好きな作家の小説を予約して下さっていました。

このように県立図書館にお越しいただけない方にも、市町立図書館で借りていただいたり、市町立図書館にない本でも県立図書館を通して借りていただけることで、私たちは協力車を通じて結びついている実感があります。お会いしていなくても皆さんのこの本を読みたい、このことについて調べたいという期待に応えられるように、今日も協力車は走ります

ひとくち源氏物語 3. 秋の植物



萩の玉川

源氏物語に出てくる草木や花は、約 118 種にもなります。女性の作家らしく、各巻のタイトルに使われたり、人物描写にも使われています。例えば「乙女」の帖には、六条御息所の旧邸周辺に四季の庭が造られ、当時植えられていた植物の名前が多く登場しています。

秋の草花も多く、ハギ(152 回)、キク(100 回)、オミナエシ(92 回)、オギ(68 回)、ナデシコ(36 回)、アシ(35 回)、クズ(33 回)の順に多く出てきます『源氏物語の花』(松田修文 国際情報社 1982年)。

「御法」の帖では、紫の上が「おくと見る程ぞはかなきともすれば 風に乱るゝ萩の上露」と、はかない命を萩の露にたとえて歌を詠んでいます。

滋賀県には草津市野路町に、源氏物語よりも古くから伝わる日本六玉川のひとつ「萩の玉川」があり、萩の名所として親しまれています。

夏休み子どもおはなし会 大盛況!!

8月8日(金)地下1階大会議室で夏休み子どもおはなし会を開催しました。午前と午後合わせて168人の方々に参加していただきました。定例おはなし会よりも時間も内容も盛りだくさんで、子どもたちはたっぷり楽しんでくれました。

特にペープサートでは子どもたちは動物たちの変身後の姿に驚いて目を輝かせてくれました。演じ手たちも楽しんでいました。



ペープサート「日天月天(にってんがってん)」の一場面

湖 国 の 本 棚

『化石は語る』

ゾウ化石でたどる日本の動物相』

高橋啓一 著・川那部浩哉 監修 八坂書房 2008年 2,000円+税



1993年滋賀県多賀町で、およそ200万年前頃にできた蒲生層から、アケボノゾウの化石が見つかりました。発見者の雨森清さんと、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員である著者をはじめ、多くの人々の協力によって、幾日もかかって発掘される様子が詳細に描かれています。化石が展示されるまでには、地道な洗い出しや整理作業、わかりやすい解説がつけられたのち、私たちが目にすることができます。

展示する時にもさまざまな過程があり、物語があることをあらためて感じることができます。なお、アケボノゾウの化石は多賀町立博物館でご覧いただくことができます。

今月のデジタルアルバム帖

10月・11月 「江戸時代の大津の名産」

江戸時代に、近江雁皮紙と呼ばれた高級な桐生の雁皮紙をはじめ、東海道筋の大谷で旅人を対象に製造販売されていた「大津算盤」や「大津針」、田上山周辺の富川の銀山、荒張の銅山、また近江国特産で知られる「フナズシ」や尾花川での漁業など「滋賀県管下近江国六郡物産図説」を中心に紹介します。



郷土資料紹介 平成20年7月～8月購入・寄贈分

[里山いきもの図鑑](#)

今森光彦写真・文・切り絵 童心社 2008年

[自然環境調査報告集 第2集](#)

彦根自然観察の会編刊 2008年

[生活環境主義でいこう! 琵琶湖に恋した知事](#)

嘉田由紀子語り 古谷桂信構成 岩波書店

2008年

[日本住宅建築の形と空間](#)

[近世住宅の歴史に見る](#)

室谷誠一著 室谷誠一教授遺稿集刊行会編

ナカニシヤ出版 2008年

[近江商人の鉱山経営](#)

[知られざる鉱山経営の謎](#)

駒井正一著刊 2007年

[次世代への贈りもの](#)

[滋賀の文化政策 1970年代から21世紀へ](#)

上原恵美著 編集工房北風写真館 2008年

[幻の名窯湖東焼 改訂版](#)

谷口徹監修 サンライズ出版 2008年

[湖螢 山田厚子歌集](#)

山田厚子著 短歌研究社 2008年

[白川集 歌集](#)

広瀬俊子著 青磁社 2008年

[塚本邦雄を考える](#)

岩田正著 本阿弥書店 2008年

[連歌師宗祇と近江](#)

奥田淳一著刊 2008年

[風光霽月 松永紫水遺句集](#)

松永計三著 松永弘子刊 2008年

[薔薇の妖精 竹内正企詩画集](#)

竹内正企著 詩画工房 2008年

[小堀遠州](#)

中尾實信著 鳥影社 2008年

[さよならは、おでこでゴツンコ](#)

[介護を受けながら生きる喜怒哀楽の](#)

[日々](#)

岩井一磨著 樹心社 2008年

[高祖保書簡集 井上多喜三郎宛](#)

外村彰編 勝井隆則刊 2008年